

■第1回懇談会でのご意見等について

※ご意見提出シートでいただいたものを含む

区分	委員	ご意見等	回答等
税率についてのご意見	小磯座長	・定率制も一つの検討のテーマである。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の考え方としては一律定額制をたたき台として提案したが、それぞれの制度についてご意見をいただきながら検討する。 <<関連ページ>> 資料P3：税率の設定について
	関川委員	・徴収事務の観点からは定額制が理解しやすい。	
徴収事務についてのご意見	関川委員	・宿泊事業者に対しては、定額、定率に関わらず徴収方法の説明が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・導入にあたっては、特別徴収義務者となる宿泊施設の負担が少なくなるよう配慮したい考え。交付金等についても先行自治体の事例を参考に検討する。 <<関連ページ>> 資料P4：徴収事務について
	奥山委員	・宿泊事業者の徴収事務などの負担は軽減すべき。	
免税点・課税免除についてのご意見	松岡委員、内間木委員、小林(真)委員	・合宿の課税免除があっても良い	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市はスポーツ合宿の誘致を推進しており道税の課税免除の対象とならない合宿等の扱いについてご意見をいただきながら検討する。 <<関連ページ>> 資料P5：免税点・課税免除について
	松岡委員	・乳幼児（布団代徴収の場合）の扱い方について整理が必要	
その他制度設計についてのご意見	小林(真)委員	・宿泊税は観光客を抑制する効果がある。オーバーツーリズム対策としての導入は必要	<ul style="list-style-type: none"> ・先行自治体の導入の経過について海外の事例も参考に研究する。 <<関連ページ>> 資料P1：宿泊税導入の目的について
	小林(道)委員・奥山委員	・観光とそれ以外の宿泊者の線引きが課題	
用途に関するご意見	内間木委員、松岡委員、奥山委員	・用途の具体化が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・資料で示す用途については、現時点で想定される一例を示したものの。今後も懇談会で意見をいただきながら様々な用途について検討していく。 <<関連ページ>> 資料P6：用途のイメージについて
	小林(道)委員	・空港やバス等、受入れ体制整備が必要	
	関川委員	・リバーサイド等エリアを限定した取組、イベントの開催支援、ナイトコンテンツへの支援・造成が必要	
	関川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に宿泊事業者の組織が無く今後構築が必要。 ・関連事業者の意見集約ができる組織が必要 ・宿泊税を活用するまちづくり会社を設立してはどうか。 	
	関川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市市街地と阿寒地区への徴収額に応じた各地区への配分が必要。 	